

クレパス
誕生
100周年

クレパス画作品展



クレパス®700色

クレパス®は、日本で発明された唯一の洋画の描画材料で、1925年(大正14)の誕生から2025年で100年を迎えました。上田ゆかりの芸術家・山本 鼎^{かなえ}(1882~1946年)は、その開発に示唆を与え、普及にも大きく貢献していました。クレヨンとパステルの長所を併せ持つクレパス®は、伸びやかで発色がよく、混色や重ね塗り、スクラッチなど多彩な表現が可能です。油絵具の入手が困難だった戦中・戦後には多くの画家たちから注目され、現在でもその持ち味を生かした新たな作品が生まれ続けています。

本展では、山本鼎をはじめ、梅原龍三郎、猪熊弦一郎、小磯良平、岡本太郎など、大正・昭和期の巨匠たちから、舟越桂、鴻池朋子、加藤ゆわ、絹谷香菜子など、現代の作家が描いた新作クレパス画®まで約150点を一堂に展示します。“クレパス®=子どもの画材”というイメージを覆すような名作の数々をお楽しみください。



山本鼎



山本鼎《西瓜》1938 年頃

主な出品作家 ※50名順

足立源一郎、有島生馬、荒木愛、池口史子、石井柏亭、伊藤悌三、猪熊弦一郎、梅原龍三郎、卯野和宏、岡鹿之助、小野月世、荻太郎、笠井誠一、加山又造、儀間比呂志、熊谷守一、小磯良平、小糸源太郎、鴻池朋子、國領経郎、小杉小二郎、佐伯米子、鈴木信太郎、田嶋廣助、寺内萬治郎、中村善策、中島千波、林武、福井江太郎、前田常作、三岸節子、宮永岳彦、宮本三郎、矢吹沙織、山口薫、山下清、山本文彦、吉原治良、脇田和ほか、計130余名。



加藤ゆわ《催眠術ごっこ》2012 年



鴻池朋子《Little Wild Things》2015 年



舟越桂《習作》2001 年

関連イベント

オープニング ギャラリートーク

サクラアートミュージアム主任学芸員・清水靖子氏による作品解説。

日時 | 2026年1月24日(土) 14:00~(1時間程度)

会場 | 展示室 ※展覧会観覧券をお求めください。 **申込** | 不要

担当学芸員によるギャラリートーク

日時 | 2026年2月1日(日)、2月21日(土)14:00~
3月1日(日)10:30~ ※各日1時間程度

会場 | 展示室 ※展覧会観覧券をお求めください。 **申込** | 不要

クレパス画®テクニック講座

クレパス®を専門的に扱うことを目的とした講座。サクラアートミュージアム主任学芸員・清水靖子氏によるプロのテクニックを伝授します。

日時 | 2026年1月25日(日)10:00~15:00 ※お昼休憩1時間

会場 | 市民アトリエ・ギャラリー **定員** | 20 名

料金 | 8,000円

※クレパススペシャルセット50本セット(税込定価:8,580円)を配布。

申込 | 上田市立美術館ホームページの申込フォームより申込んでください。

夜のさんぽミュージゼ(夜間観覧と展覧会解説)

人数限定の夜間観覧。学芸員の解説とお茶・菓子がついた特別な時間をお楽しみください。

日時 | 2026年2月27日(金)18:00~20:00 ※トークは18:20開始

会場 | 展示室 **講師** | 担当学芸員

定員 | 20名程度 **料金** | 1,800 円 ※お茶・菓子代含む

申込 | 上田市立美術館ホームページの申込フォームより申込んでください。

上田地域児童のクレパス画®

特別展示

クレパス®は山本鼎が提唱した児童自由画運動と共に、広く全国の小学生に普及しました。児童自由画運動の発祥の地となった上田市立神川小学校に残る昭和初期の児童によるクレパス画®と、現在の上田地域の児童によるクレパス画®を展示します。

会場 | 展示室(ホワイエ) ※要展覧会観覧券

ミュージアム・カフェ コラボメニュー

「春色デザートプレート」

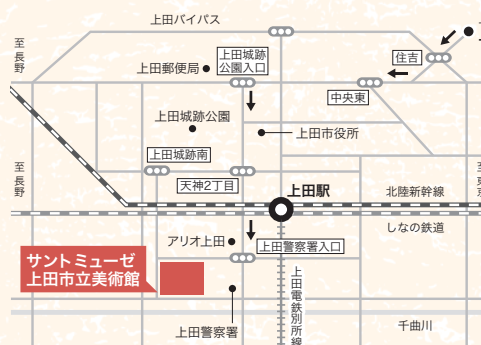
会期中、サントミュージゼ内のロジェ・カフェにて限定のコラボメニューを提供。苺とレモンのケーキにパニアイスとキャラメルソースの彩りをのせた一皿です。



期間限定

サントミュージゼ 上田市立美術館 Ueda City Museum of Art

〒386-0025 長野県上田市天神三丁目15番15号 TEL.0268-27-2300



アクセス

- 北陸新幹線、しなの鉄道、上田電鉄別所線「上田駅」から徒歩約7分
- 上信越自動車道「上田菅平IC」から車で約15分

イベントの詳細はホームページからご確認ください

https://www.santomyuze.com/museumevent/kurepasugaten_202601/

